

Focus on 2016/2017 プリマハムグループ

2016-2017年のおもな取り組みに携った従業員の声を紹介します!

地元の小学校での国際交流会に参加しました。小学校の先生や生徒たちと材料から餃子づくりをはじめ、いっしょに食べました。私は日本語が上手ではありませんが、小学生たちはみな明るく、とても楽しかったです。後日、小学生から感謝の手紙をいただき、温かい文書を読んで感動しました。今後も、実習生にはこの活動に参加してほしいです。



三重工場
製造部 実習生
劉 艶芹

餃子の形は昔の中国のお金といっしょなので中国では縁起の良いものとされ、正月には家族みんなで必ず餃子をつくって食べます。今回の交流会では、小学生たちは餃子づくりを真面目に勉強していて、私は感動しました。もっとも中国と日本の交流が盛んになり、最終的にはお互いが助けあい、いっしょに進歩、発展することを願っています。



三重工場
製造部 実習生
黄 阮慧

小学生たちとの餃子づくりはとても楽しかったです。私たち4人は、それぞれ小麦粉をこねる人、生地をつくる人、餡をつくる人にわかれて、小学生も4グループに分かれて作業をしました。小学生たちはとても情熱的でした。日本語が上手ではないため小学生たちとの会話は難しかったです。もっと日本の文化・習慣、日本人の生活について知りたいです。



三重工場
製造部 実習生
苗 静

今回の国際交流授業を楽しみにしていて、当日は「待ちに待った行事がやっと来た!」という感じでした。グループに分かれて餃子の具と皮をつくり、小学生たちといっしょに皮で包みました。笑いながら作業するうちに、いつの間にか交流会は終わっていました。また、小学生からの手紙はとてもうれしかったです。次回も楽しみにしています!



三重工場
製造部 実習生
单 恩梅

2016年2月

- 国際交流授業に中国の実習生が参加



設備・機械担当メンバーとして新プラントの建設プロジェクトに参加しました。ラインを設計するにあたっては、すっきりした配置を意識するのは当然ですが、設備間のスペースや高さなどものの流れがきれいにならざることを意識しました。苦労はしましたが、製造・技術部と工場が一丸になって努力した結果、短期間に立ち上げられてうれしかったです。



茨城工場
生産技術課
横内 良隆

5月

- 茨城工場新ウイナープラント完成



法的な書類の調整や申請、建築業者・設備業者と情報交換、行政との連携...など、これまで経験していない業務だったので苦労しましたが、勉強になりました。また、当社としては三重工場建設以来、約35年ぶりのプラント建設というビッグプロジェクトに参画できてうれしかったです。この経験を現在進行中の2期工事にもいかしていきたいと思っています。



製造・技術部
小池 真奈

6月

- IFFA金賞、モンドセレクション最高金賞受賞



出品する商品が多く、準備段階では各商品に使用する添加物や工程条件の違いを把握するのがたいへんでしたが、自分たちの商品が金賞を受賞したことに喜びを感じています。特にものづくり部が製法からこだわった焼豚がIFFA金賞を受賞したことはうれしかったです。今回は銀賞だった商品も次は金賞をもらえるようにクオリティを上げていきたいと思っています!



ものづくり部
黒井 瑞穂

11月

- 「香港ワイン&スピリッツフェア2016」に参加

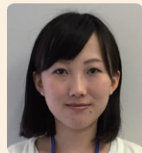
今回のフェアでは、かみふらの工房製造の商品説明や試食提供、アンケートの回収などをしました。中国の皆さまにもプリマハム商品を喜んでいただけたことはうれしかったです。その様子を商社の方に説明したところ、イタリアやロシアなどからもコンタクトいただけるようになりました。まずは香港へ、そして欧州への輸出体制を構築できれば本望です。



調達部
山藤 晃久

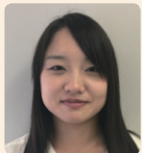
Focus on 2016/2017 プリマハムグループ

普段かかわることの少ない小学生が対象だったため、どのように話したら理解してもらえるか、接し方などに悩みました。ですから、子どもたちに「今日はありがとう!」とっていただけたことがうれしかったです。また授業中、だんだんと子どもたちが当社や食に対する認識を深めていっていると感じ、直接対話することの大切さを学びました。



関東量販部
中原 美南

小学生相手なので思いもよらぬところで盛り上がり、收拾がつかない場面もありましたが、生徒の反応が良く、意見や質問をいろいろと出してくれたので、自分自身も楽しく授業ができました。先生方に「小学5～6年生はもっと高いレベルの内容にもついていける」というご指摘をいただいたため、現在、もう少し難易度の高い問題をつくっています。



広域量販部
井上 佳奈

開発中は、小ロットでの試作を繰り返し、商品企画部と打ちあわせをしながら商品の味や食感を決めていきました。特に、糖質を含まずに甘味の感じられるものをいろいろとテストしました。そんな風に試行錯誤を繰り返して設計した愛着のある商品が、現在では新商品として発売されたこと、「おいしい」という言葉をいただけたことがほんとうにうれしいです。



品質管理部
千葉 恵璃菜

LEGOLAND® Japan のレストラン「ナイト・テーブル・レストラン」へのメニュー提案や商品の導入を担当しました。同店のシェフはメニューに対してこだわりがあり、本格的な料理をお求めでしたので、私たちもさまざまな商品を提案しました。その結果、シェフにも喜んでいただき、オープン後の同レストランは連日、お客さまで賑わっています。



フードサービス事業部
エリア統轄部
中本 広之

12月

- 「食育サポート活動」を実施



2017年1月

- プライムデリカ(株)の「相模原第2工場」が竣工



2月

- 「惣菜・べんとうグランプリ」3年連続金賞受賞



3月

- 糖質ゼロの「プリマヘルシー」発売



4月

- 「LEGOLAND® Japan」にレストランをオープン
- 「プリマハムミートファクトリー(株)」設立



相模原第2工場の立ち上げにあたって、厚木工場からの生産移管や新たな商品カテゴリーの生産ライン稼動を担いました。24時間稼動しているなかで設備移設と従業員を移動しながら生産数を確保することはたいへんでしたが、無事初出荷を迎えられてホッとしました。今後も従業員たちと一丸となって、首都圏全域に商品を供給していきます!



プライムデリカ(株)
相模原第2工場長
台 貴之

最終レシピの決定に携わりました。限られた原価のなかで、どうしたら見映えを良くすることができるのか、また色合いと栄養バランスを考えながら、女性目線で野菜の使い方を工夫しました。2014年、2015年に続き、今年も金賞をいただけたことを知ったときはとてもうれしく、最後まであきらめず、商品完成までがんばって良かったなと心から思いました。



(株)エッセンハウス
営業部
山口 翔子

365日稼動という条件のなかでプロセスセンターを移設しなくてはならなかったため、12日間かけてライン設備を移動しました。従業員全員が連携してくれたおかげでスムーズに移設できました。移設後は、生産量も増え、来工者も増えています。今後、新規商品にも取り組み、「食肉の1次加工を一手に引き受ける会社」になりたいと思っています。



プリマハムミートファクトリー(株)
関東プロセスセンター長
赤塚 倫之